

第12回議会報告会 報告書



報告内容

1 議会審議

(1) 平成28年度一般会計、特別会計予算 …… 議会広報特別委員会

(2) 平成27年度補正予算

2 議会ICTの取組みについて …… 議会ICT推進特別委員会

(1) 議会フェイスブックの見方

3 子育て支援について …… 総務文教常任委員会

(1) 幼保小中の連携について

4 意見交換

住吉会館	5月23日	(月)	19時～21時
川尻会館	5月24日	(火)	19時～21時
片岡会館	5月25日	(水)	19時～21時
北区自彊館	5月26日	(木)	19時～21時

吉田町議会

目 次

第12回議会報告会を終えて	1
1 アンケート集計結果	2
2 意見交換	
(1) 住吉会館	6
(2) 川尻会館	12
(3) 片岡会館	16
(4) 北区自彊館	21

第12回議会報告会を終えて

第12回議会報告会には、幼稚園及び保育園、また小学校に通うお子様の保護者の方々をはじめ、自治会並びに町内会の役員の皆さま、さらには、回覧板をご覧になってくださった方など134人の御参加をいただき、心より感謝申し上げます。

今回の報告会を開催するに当たりましては、第11回報告会で皆さまからいただいた報告会の運営及び報告内容に関する御意見や御要望をもとに、議員全員で協議し改善致しました。

今後も、報告会の充実を図り、さらに参加しやすい報告会になるよう努めてまいります。

さて、今回は平成28年度当初予算などの審議のほか、子育て支援に係る委員会活動について報告させていただきました。各グループでは大変活発な意見交換が行われ、課題の共有などができたのではないかと思います。

皆さまから出された御質問や御要望につきましては、全員で共有した後、回答すべく2つの常任委員会及び議会ICT推進特別委員会に振り分け、調査を行いました。また、すぐに回答できない政策提案については、一般質問などで町当局と議論してまいります。

議会報告会は、町民の皆さまに議会活動を報告させていただき、御意見を伺う場として、また、町の課題について意見交換する場となっております。

『吉田町に住んでよかった』と思える町づくりを進めていくには、皆さまからいただいた御意見を議員間で討議し、町政に反映させることが大事と考えます。

これからも議会への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

吉田町議会議長 大塚 邦子

1 アンケート集計結果

【全体の参加者状況】 (人)

参加者数	134
回答者数	129

【お住まい】 (人)

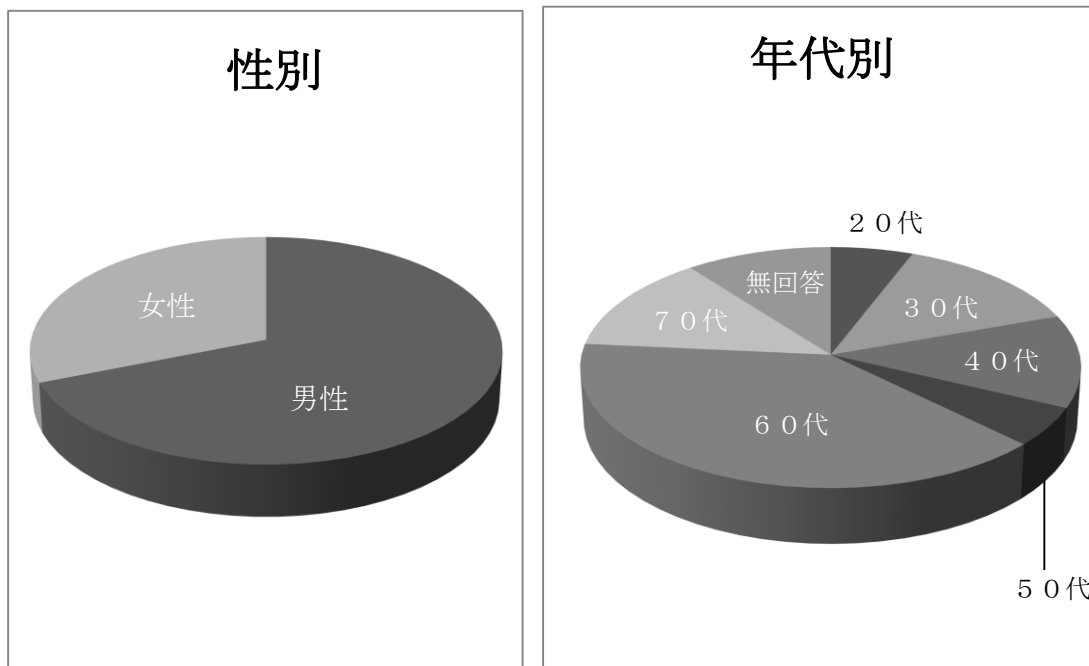
住吉	川尻	片岡	北区	町外	合計
31	24	31	41	2	129

【性別】

男：89人 女：40人

【年代別】 (人)

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	計
人数	5	17	15	4	56	16	16	129



問1 議会報告会をどこで知りましたか(複数可) (人)

町内回覧文書	町HP	知人・友人	議員	その他
53	2	16	25	33

問2 今回の議会報告会について (人)

大変良かった	良かった	良くなかった	どちらとも言えない
11	91	3	24

問3 議会審議の報告について (人)

良く理解できた	理解できた	理解できなかった	無回答
6	96	22	5

問4 議会フェイスブックによる情報公開について (人)

大変興味がある	興味がある	興味がない	無回答
5	64	53	7

- ・議会の事が良く見えて、とても良い事です。
- ・今後の情報公開に期待します。
- ・高齢者には無理。
- ・若い世代が利用するフェイスブックなので、若い人が興味を持つような仕組みが必要。年齢に関係なく誰でも見られるように講習会を開いてパソコン、テレビなどで見てもらえる仕組みが必要。
- ・意見交換を多くやりたい。
- ・若い人たちは、興味をもたれると思います。60代以上の人たちは興味を持たない感じがする。
- ・若い人たちにはいいが年配の人には難しいと思う。
- ・議会の人60代が多く私たち40代が議会に入っていくことは難しいと思う。知っている人がかかわっていれば見るようになると思う。
- ・登録しておきます。
- ・フェイスブックをやっていないのでわかりません。
- ・非常に利用できて良かった。
- ・「その日のまとめ」のようなものを作ってくれてありがたい。
- ・どの程度の町民がフェイスブックを利用できるのだろうか？
- ・若い人へのPRにはいいと思う。
- ・不安。
- ・議会のインターネット配信を期待します。
- ・フェイスブック内で検索しても引っかかってこないのは、最近つくられたからでしょうか。“吉田町議会”“吉田町”で引っかかってくると見てもらえる機会が増えるんじゃないでしょうか。
- ・更新をしっかりとしてほしい。見やすさ、見たいと思わせる内容をお願いしたい。

- ・フェイスブックをやっていないです。
- ・ぜひやってみたいと思います。
- ・町民が多く見て理解を深めればベターと思う。
- ・会議の様子をリアルタイムでみる意義を感じません。内容報告をホームページに載せれば充分だと思います。
- ・セキュリティについては万全を期してください。
- ・面白い試みだと思う。フェイスブックという媒体を使用することは？他のSNSも利用したらどうか。
- ・フェイスブックで自分の情報を公開することにより弊害の方が大きくて、私はフェイスブックもSNSもやる気がしない。携帯すら持っていない。
- ・忙しくて見る時間がない。
- ・フェイスブックはやっていない。スマホはあるが、使い方が良く分からない。
- ・わざわざ見るのは、よほど興味深い事が必要と思う。PRしなければ見る人が増えない。
- ・時間や場所に関係なく、老若男女だれもがいつでも気軽に利用できるようにしてほしい。
- ・ICTという言葉だけで、引いてしまう人もいるのでは。
- ・興味を持ってやってみようと思いました。
- ・PR不足。
- ・見たことがないのでどんな内容か知りませんが、議会の内容だけでなく、議員さんのプライベートなどをのっけると『こんな人なんだ』と興味が出てくるかも。(今日のごはんなど)
- ・内容を増やししながら進めて下さい。
- ・見てみます。
- ・興味はあるが、取組みがわからない。
- ・いいね！してあります。

問5 子育て支援の報告について

(人)

良く理解できた	理解できた	理解できなかった	無回答
10	98	15	6

- ・質の高い教育をすることが吉田町人口増加につながるのではないだろうか。
- ・他市町と比べて子育てに対してメリットが少ないと子育て世代は出て行ってしまうのでは。
- ・支援学校との交流をもっと増やしてほしい。
- ・榛原総合病院に産科を設置すること、地元には絶対必要である。出生率を向上させるために。
- ・町としても子育て支援について調査をしていただいていることを知りました。要望として実際子育てをしているお母さんたちの声も沢山聞いていただきたいです。町で行なう検診の時などに少し時間をとってみたりと…。
- ・説明が上手だった。
- ・子育て支援への委員会の考えには同調。
- ・若い方々の意見を聴く事が大切と思います。
- ・いろいろな意見が出てきて大変良かった。
- ・大まかなことは理解できましたが、詳細が良く分からなかったような気がします。保育園と幼稚園の違いについて、誤解していたことが分かりました。

問6 議会報告会や議会に対して、ご意見、ご希望があればご記入ください。

- ・ICTという言葉、この場の何人の方が理解していますか。
- ・議会ICT推進について目的は何か。
- ・他地区を視察研修しているが、今後議会としてどの様に生かしていくのか。
- ・私は、ICTを導入しても、議会に関心を持ってくれる人が増えるとは考えにくい。果たして若者が議会を身近に思う人がいるか疑問である。
- ・このICT導入の予算はいくらか。

2 意見交換

(1) 住吉会館



ア 3

問1 吉田町の税収を増やすための施策はあるのか。

答 吉田町では今年度からふるさと納税を始める。内陸フロンティアの取組みで企業立地も計画されている。

問2 防災タワーを作ったが、40年後には錆等メンテナンスが必要になると考えられるが、また金がかかるのではないか、避難タワーを見るたび不安になる。議会でもメンテナンスに関して声をあげて予算づけをして下さい。

答 錆ではなく、白色遮熱舗装に付着した鉄分であることを確認しています。舗装は50年大丈夫であると聞いていますが、議会としても管理状況を注視していきます。第11回議会報告会報告書を見てください。

問3 津波や直下型地震対策は。熊本地震で不安である。

答 防潮堤のかさ上げや坂口谷川水門の耐震化、またTOUKAI-0やブロック塀等耐震化補助金制度があり、建設課が窓口なので問い合わせしてほしい。

問4 防潮堤について吉田町は10mだが、坂口谷川の水門は6m。大丈夫なのか。

答 坂口谷川水門は県の事業であり、想定している津波の高さが、町と県では違うが、県では大丈夫と考えている。

問5 シーガーデンシティ構想の防潮堤は吉田漁港までか。その西側はどうか。

答 今年度からは吉田公園から吉田漁港までを整備し、その後、吉田漁港から西側を整備していく計画である。

問6 既存の堤防をかさ上げするのか。

答 既存の堤防の耐震化を図った後にかさ上げを行う。

問7 シーガーデンシティ構想について具体的な内容を聞きたい。

答 川尻海岸から坂口谷川にかけてL2クラスに対応できる防潮堤を整備して吉田港の東側に多目的広場を整備して観光と水産振興をはかる賑わいの拠点とする。

問8 地域に子ども達の遊び場がなくなった。(東村、大浜の公園が避難タワーになったため)多目的広場を野球やサッカー等の遊びに使えないか。

答 新たな公園をつくることはない。最寄りの公園を利用してほしい。多目的公園は、芝生広場を計画しているとのことで、ボール遊び程度はできるようである。

問9 必要のない事業など、見直しを議会はしているのか。

答 議会では必要のない事業の見直しはしていない。

イ 子ども・子育て支援について

問1 幼稚園に通っていたが、途中で親が就職したら退園させられた。町内保育園に入れないため、町外へ行くことになった。何とかしてほしい。

答 保育園への途中入園は出来ますので、こども未来課にご相談下さい。

問2 住吉地区に住んでいるが、片岡の保育園に行っている。近くにいて、子育てができる状態を作してほしい。

答 保育園の園児数、職員や受け入れの状態もあり、地区の保育園に入れられないこともあるが、入園前に希望を聞いている。

問3 3人目無料の応援をしてほしい。所得に制限があるのはなぜか。
答 国に従っている。国は制限を360万円としているためである。

問4 女性が働く場所が少ない。派遣にしても働く場所が少ない。企業に
応援してもらいたい。
答 町も女性の起業など支援をはかり、企業にも働きかけている。

問5 通学に榛南幹線を横断するのにあたり避難タワーを横断するため
遠回りになり不便と通学時間の無駄ではないか。
答 学校等では、学童のことを考えてのことと思う。

問6 保護者会に対する対応が悪い。保護者会の会合は園外。アルバム
写真もない。
答 夜間の会合は管理のために職員を置かなければならないので、他
の施設利用にしてもらっている。アルバムについては保護者の声が多
ければ、再考するが、予算の関係もあると聞いている。

問7 さくら保育園入園式がないのでやってほしい。
答 働く保護者への配慮があるために入園式を行うことができません。
町内4保育園共通で入園式を行っていませんが、保護者より要請が
あれば再考すると聞いている。

問8 榛原総合病院及び町内に産婦人科・小児科がない。
答 産婦人科は、現在常勤医師が不在ですが、毎週2日（水・金）外
来診療を行い妊婦健診と婦人科検診を行っている。10月からは、
非常勤医師の確保により、木曜日も診療が行われるようになり毎週
3日体制となっている。小児科は常勤医師一人で以下の内容で診療
を行っている。

小児科	医師体制	常勤医師一人
診療体制	外来診療	月～金の午前
	夕方診療	月～金（受付時間 16:00～18:00）
	緊急対応	日曜日（対応時間 9:00～12:00）
	入院対応	対応している

現在のところは、産婦人科と小児科の診療体制について明確な見通しはありませんが、引き続き、指定管理者の徳洲会に対して、医師の確保や安定した榛原総合病院の診療体制構築の要望を続けていく。

問 9 榛原総合病院は交通の便が悪く、医師が来ない。盛り上げる方法はないか。

答 「地域医療を支えるはいなんの会」が結成され、榛原総合病院のボランティア活動や地域医療講演会などを開催し、医師を応援している。

問 10 障害を持った子どもの支援及び就労支援の新しい取組みはあるか。

答 国の法律の改正により、サービスの提供が変わったが、新しい取組みはないそうである。

問 11 私立の幼稚園教育と、町立保育園の保育との同一カリキュラム化は、どのようにして進められるのか。将来的な姿が今一つわからない。

答 町教育委員会では学識経験者、幼稚園教諭、保育士、保護者、小学校教諭、指導主事等を委員とした「幼児教育カリキュラム作成委員会」を立ちあげた。子どもたちは、どちらに在籍していても同じカリキュラムで保育、教育をうけることができる。

問 12 何が課題で視察に行ったのか目的をまず書いて各々の施設の実情を、優れている点、欠陥などを文章化してほしい。(報告書)

答 総務文教常任委員会では、議会閉会中の所管事務調査として、調査事項「子ども・子育て支援の一つとしての認定こども園を調査・研究する」をテーマに研究を行いました。視察報告を含めた「委員会調査報告書」を平成28年6月議会において、議長に提出しました。委員会報告書は、8月の吉田町議会フェイスブックに掲載いたしました。ご覧になって下さい。

ウ その他

問 1 榛南幹線、大道交差点に手押し信号機を付けてほしい。交通量が多く、横断する子どもが危険。

答 榛南幹線と大道交差点、大幡川幹線と川尻小山の交差点に28年度中に信号機が設置されることを8月31日に確認した。

エ 要望

- (ア) 吉田町の魅力を創れ。
- (イ) さくら保育園の保護者参観会がほしい。
- (ウ) 障害者支援について、近隣の市はタクシー券をくれるが吉田町は10%引きである。もう少し補助制度を厚く見直してほしい。

- (エ) 放課後児童クラブが昨年から3年生までから、5・6年生まで対象が広がった。住吉小の放課後児童クラブはキャパオーバーではないか。増やしてほしい。

答 放課後児童クラブの実態は、最初は児童クラブに入っても、その後子ども自身が一人で留守番できるようになるなどで、徐々に児童が減少していく傾向である。住吉小の児童クラブは1カ所のみであるが、キャパシティのオーバーはないので、安心してください。

- (オ) 子どもの遊び場所が少ない。空地利用はできないか。ボール遊びができる広さがほしい。小籐路公園まで行くには遠い低学年の子もいる。
- 答 「ア 3月議会・予算について」の問8の答えと同じ。

- (カ) 避難タワーの下で子どもが遊んでいたら、おじさんに怒られた。遊んでもいいという看板がほしい。
- 答 各避難タワーには、利用上の注意が掲載されています。注意事項に従って利用してください。

- (キ) 小学校1年生だが、放課後児童クラブに入れてもらえなかった。入学説明会の時に告知してほしい。初めての親はわからないので。
- 答 放課後児童クラブに入れなかった児童がいたことはありません。安心して利用してください。

- (ク) こども園の取組みはいいことだと思いました。いろんなハードルがあるかと思いますが、頑張してほしい。
- (ケ) 第3子以降所得制限があるが、全員無料にしてもらいたい。
- (コ) 吉田町独自で、3人目無料に。
- (サ) 安全な子どもの遊び場が以外と少ない。
- (シ) 子育て対象の子がいないのでピンとこない。

オ 意見

- (ア) 自主防のあり方については実践的な方法を考えてほしい。10日くらいの避難所暮らしの対応・対策を。
- (イ) 幼保同じカリキュラムは無理ではないか。ひばり幼稚園は、先生方が熱心に独特な教育を実施している。
- (ウ) 親は、幼稚園と保育園に通っている子どもたちの違いがわからない。
- (エ) ひばり幼稚園は延長保育が無料で、働いている親は多い。
- (オ) 自営業なので一時預かり保育を1歳半から利用しているが、保育士が2人辞めた。子どもが慣れたところで保育士が辞めてしまうが、子どもにとってよくない。
- (カ) 子育てについては出産時の交通費の支給は良いが、榛原総合病院で生める対応策が第一。(早急に)

(2) 川尻会館



ア 3月議会・予算について

問1 ふるさと納税について、近隣の焼津市を参考にしてはどうか。

答 吉田町も今年から力を入れていく。昨年は185万円であったが、3千万円を見込んでいる。

問2 ふるさと納税だが、町に納税され予算として使途できる金額はいくらか。

答 納税金額の50%を返礼品に充当し、株式会社さとふるに委託料として14%払っており、町に納税される金額は36%となる。

問3 内陸フロンティア構想は。

答 わが町の津波防災まちづくりに位置付けられており、北区防災公園周辺に物資供給拠点確保事業として商業施設の誘致を行い、また川尻高島地区に企業活動維持支援事業として、津波浸水区域から移転する企業の受け皿となる土地を確保するとともに、応急仮設住宅建設用地を確保する構想である。

イ ICTについて

問1 フェイスブックを活用するにあたり、どう考えているのか。どういう風に見てもらいたいのか。年齢対象は。

答 目的としては今議会で起きていること、議論していること、議会に関心を持って見ていただきたい。皆さんに見てもらいたいと考えている。

問2 みんなが知りたい情報よりも、議会の情報発信ばかりで工夫の余地があるのでは。

答 議会や委員会などの議会情報を発信することで、いつでもどこでも議会の見える化が図られます。そのことにより、町民の皆さんと身近な存在になるようにしていきたい。

問3 どの様に生かしていくか。高齢者は見ない。お金が掛かり予算の無駄。町民に如何に関心を持っていただくか。

答 現在は、無料で試行的に実施する。これは議会PRの一貫として町民の方々に町および議会の事に関心を持っていただくためである。

問4 議会中継はどうなったか。

答 中継には予算が伴い、町当局との調整が必要である。まずは議会でお金をかけずにできることを行っていくことにした。

ウ 子ども・子育て支援について

問1 3人目の子どもは収入によって、無料化になるというが、町内に何人いるのか。

答 個人情報にかかわることなので、報告できない。

エ その他

問1 徘徊する高齢者がわかるような工夫をしているか。

答 携帯のGPS機能を利用して居場所がわかるシステムを作った。利用する時の補助制度がある。現在のところ申し込みはない。名札をつけること。また、高齢者見守りネットワーク制度があり、協力事業所は41社ある。協力企業が支援の役割を果たしている。

問2 県営吉田団地西側の竹やぶを何とかしてもらいたい。

答 浜田土地区画整理組合が管理しているので対処をお願いした。

問3 松林に野良猫を捨てに来る人やえさを与える人が多い。

答 町では、広報などで飼い猫を捨てないよう啓発している。平成28年度は飼い主のいない猫の繁殖を防ぐため、不妊去勢手術費補助金300万円を予算化し、ボランティア団体の協力のもと飼い主のいない猫を減らす取り組みをしている。今後は飼い主のモラル向上や地域住民の理解を得るための啓発が必要と考える。

問4 図書館の学習スペースが足りないので学習する場が欲しい。家では落ち着いて学習できない。

答 現在、図書館では学習室、喫茶コーナーのほか公開書庫で学習ができ、不足している状況は見受けられない。なお、中央公民館の1階ロビーにも学習する場所があり、さらに必要になれば検討する。

問5 給食費滞納の人たちにはどういう指導をしているのか。

答 学校の事務が諸会費と同じく、扱っている。督促通知を出し、学年主任へ報告し、対応している。

オ 要望

- (ア) 空港新駅設置について吉田町議会も動いてほしい。
- (イ) 榛南幹線など主な道路が3つできたが、東名川尻幹線と焼津榛原線の交差点に右折ラインがないため、渋滞する。県道にして早く2車線にしてほしい。
- (ウ) 婚活やお見合いパーティーをして、他市町から吉田に来てもらいたい。
- (エ) 東名川尻幹線のオカモトの社宅のところから中央小の近く、車線が減っている。2車線にしてもらいたい。
- (オ) シーガーデンシティ構想が完成すると川尻地区は賑わいと雇用が生まれ素晴らしい地域になりますよと伺いました。実現を。
- (カ) 川尻神社前の県道と東名川尻幹線の交差点渋滞がひどい早急に対応を。
- (キ) 総合体育館への出入り信号機など改善を考えてほしい。
- (ク) 電子化をすすめ、議員を減らしてほしい。
- (ケ) すみれ保育園へ東から入れる道を作してほしい。(一方通行)
- (コ) 保育参観があればいい。
- (サ) すみれ保育園の前の道路で上りからも入れるようにしてほしい。
- (シ) 卒業アルバムを復活してほしい。

カ 意見

- (ア) 吉田町の人口を増やすことだが、人が外へ流れている。高い教育、豊かな経済活動が大事である。商業施設を造っても取り合いになるだけである。
- (イ) 保育料無料化は360万円の制限をはずした方がいいのではないか。

- (ウ) 津波避難タワーへ食料・トイレなど一時的に必要なものの備蓄を。
あるいは近くに必要と思うが。
- (エ) フェイスブックは手軽でよい。
- (オ) 保育士が異動して対応に苦慮している。
- (カ) 学力を上げる今後の取り組みが気になりました。
- (キ) 一貫教育に興味がある。

(3) 片岡会館



ア 3月議会・予算について

問1 東名川尻幹線の国道150号からオカモトの社宅へ向かう道が1車線になってしまう。左側を走っていると危ない。いつから2車線にするのか。町からの説明を聴いているか。何か考えがあるなら聞きたい。

答 交通安全上の理由と現在の交通量の状況から1車線としている。現在は、2車線共用の予定はないが、警察と協議していく。

問2 消防が広域化したけど、救急時にはかかっている総合病院に送ってもらいたいが、送ってもらえなかった。ルールがあると思うが、どうにかならないか。

答 救急搬送の場合は、距離が近い榛原総合病院に搬送する。ただし、距離的に大丈夫で、かかりつけの総合病院に担当医師がいて受入が可能ならそちらに搬送するルールがある。

問3 広域化したら救急隊員と消防隊員と専門分野に分けられた。(昔は両方やったが)この区分にした意図はなにかあるのか。

答 広域化したことにより人員が増えたことから、より充実した業務を行うため「救急」「火災」「救助」の専門分野化に向けて体制を整えている。

問4 ふるさと納税で5割返礼だが、夕張市のメロンは7割返ってきた。
吉田町ではどうするのか。

答 町づくり公社で商品の掘り起しを考えている。ふるさと納税について昨年は185万円だが、今年度は3千万円を目標とした。

問5 町で管理している防犯カメラは町内にいくつあるのか。人の出入りが多くなってきたので、もっと設置するほうがいいのでは。

答 現在は町内に13台設置してある。必要性があれば設置していくものと考えている。

問6 国道150号沿い、大幡の車屋さん、通勤、通学の自転車が走りにくい。何度か話しているが、どうなっているのか。

答 県島田土木事務所の管轄であり、県は当該用地を買収するため地権者と交渉中である。町議会も県に要請した。

問7 飲酒運転疑惑について議員辞職勧告は、結論が出てからでも良いのでは。

答 疑惑については5回の全員協議会で協議し、その結果、議員発議で上程され採決した。

問8 議員辞職勧告を発議したことは強くないか。

答 発議は議員の権限である。

問9 内陸フロンティアの取り組みで、高島地区の状況はどうか。

答 地権者会が発足し、説明会開催後、区域を決めて測量調査を行った。また、橋梁が新設される。

イ ICTについて

問1 フェイスブックを立ち上げた理由は。

答 まず情報発信の手段として、皆さんに議会を知ってもらうためである。

ウ 子ども・子育て支援について

問1 ファミリーサポートとはどのようなシステムか。

答 子育て支援として一時的に預かったり、塾の送迎などボランティアの協力を得て行う制度である。

問2 こども未来課はどうしてできたのか。

答 児童福祉と保育支援を目的に創設し、教育委員会と同じフロアにして問題の共有化をはかり、幼保小との連携を推進しようとするものである。

問3 私立幼稚園の認定こども園化に町も力をいれてほしい。

答 まずは吉田町幼児教育カリキュラムをつくり、方向をもって進んでいくことからはじめていくと聞いている。

問4 産婦人科を設けていただきたい。

答 ご質問は、当然のこと町及び榛原総合病院に議会として十分要望をしていく。

問5 私立幼稚園就園奨励費補助金が牧之原市に比べ、吉田町は少ない、どうしてか。

答 補助金の額の設定は、それぞれの家庭の所得状況の違いもあり、市町ごとの事情によって異なっているのが実態である。ただ、生活保護者、低所得世帯において近隣市町では保護者負担がないということに対して当町では負担がある。第3子では、牧之原市は無料にしている。こうした状況を踏まえて、国に幼稚園の保育料を無料にするという動向があるので、そうした制度を踏まえつつ今後検討を進めていきたいと考えていることを確認した。

問6 警報が出た時の休みが自己判断。小学校のようにできないか。

答 保育園は就労支援の役割を担っているため、警報が出ても園で預かることになっている。

エ その他

問1 吉田高校跡の特別支援学校のことについて、どう接していったらいいのか、どういう風に声をかけていいのか悩む。防災、運動会、文化展等の参加はしている。

答 県の管轄であるため、地区の人が関わっていける行事は参加したほうが良いと考える。

問2 議員の目標は良いが、議会目標の評価がよくない。原因は。

答 吉田町議会基本条例第4条（議員の行為規範）を遵守することができなかつた。町民に疑惑を持たれたことが原因である。

【参考】吉田町議会基本条例 第4条（議員の行為規範）

議員は、自らが町民の代表であることを自覚し、公正性及び透明性を重んじて行動し、町民に疑惑や不信を招くことのないようにしなければならない。

オ 要望

- (ア) 保育園の園舎を保護者会の会合に利用できるようにしてほしい。
- (イ) 保育園にバスがない。あれば遠足なども少し遠くへ行けると思う。
- (ウ) 吉中生が防災訓練で救助方法をやっているが、誰が主導となり、行うのか気になる。また、パニックに陥りやすい要支援者に対し、どう接するのをもっと考えるべきである。
- (エ) 病児預かりに申請書が必要だが、病気になるのは突然である。利用するのに事前となる申請書、もっと手続きが簡単にならないか。
- (オ) 町の教育方針については、点数だけではなく生きる力や人間力を高めることが大事だと考える。達成目標や達成率を掲げ実効性のあるものにしてほしい。
- (カ) 榛原総合病院や町内に産科がない。出生率や少子化に影響があるので医師の確保が必要だ。
- (キ) 公園の遊具の充実をはかってください。
- (ク) 親子で釣りが楽しめるように考えてほしい。親水公園との一体化を望む。
- (ケ) 産婦人科医の招へい(榛原総合病院、個人医)を具体的な条件を示しながら実現をめざす。
- (コ) 子育て支援について、いろいろのルールがある事とは思いますが、吉田町独自の方法を生み出し吉田町に住みたいということにつなげてください。

カ 意見

- (ア) 吉田町にこども園は必要か。幼稚園は教育が充実して満足している。
- (イ) 保育園でお迎えの時間や親の休みに対してきびしい。仕事が休みでも親の具合が悪いこともある。
- (ウ) 第3子無料化所得制限がある。使われない予算もあるからそれを使って無料化したらどうか。

- (エ) 他県のこども園だけでなく、牧之原市や島田市の様子を調査することも大切ではないかと思います。公立の保育園ばかりでなく、私立の幼稚園にも注目することで、保育園の問題点が見えてくると思います。
- (オ) 交通費3万円支給よりも、もっと何かよい方法はないのか。
- (カ) 新たな取り組みを推進していくことは分かるが、もっと具体的に分かりやすく、使う人が使いやすい取り組みにしてほしい。子どもの貧困対策の現状を知りたかった。
- (キ) こども園は進めていただきたい。
- (ク) 具体策特に産婦人科の体制がない。
- (ケ) 子育て支援など、いろいろな意見があることを知り、良かったです。

(4) 北区自彊館



ア 3月議会・予算について

問1 ふるさと納税の返礼品は決まっているのか。

答 運営サイトの委託先が町内企業などに商品の提供を求め、その中のものを返礼品としている。

問2 税金の滞納者が増えているのか

答 徴収事務の強化で財産調査や差し押さえの実施、また滞納整理機構への移行などで未納額が減少し、徴収率は上がっている。

問3 榛原総合病院の産婦人科の現状は。

答 4月から医師を呼んで再開と言ったが、医師が見つからず、まだ産科が閉じたままである。

問4 増田議員が一般質問で行った町内を巡回するバスの話はどうなっているのか。

答 生活交通検討委員会を立ち上げる予定である。町は巡回バスではなく路線バスの運行に重点をおいている。

問5 北区には、吉田インターチェンジを中心とした長期ビジョンが欲しい。

答 町は、本年度から第5次吉田町総合計画前期基本計画に基づき、町づくりを進めています。

問6 議会報告会後の質問に対して実現性が少ない。

答 議会報告会の質疑等は全員で協議し、委員会に振り分け調査している。また、一般質問や質疑等で取り上げ実現に向けて努力している。

イ ICTについて

問1 フェイスブックの目的は。

答 趣旨として、町民及び吉田町に係る人々のために、議会からの情報をフェイスブックで発信することで、町民に開かれた議会の実現のためである。

問2 ICT推進の目的は。

答 ICTとは、情報通信技術のことを言う。町民の皆さんが「いつでも」「どこでも」「いくらでも」町的意思決定機関である議会の情報を得られるように、ICTを駆使して住民への情報発信を推進するためのものである。

問3 PRをもっと強化した方が良いのでは。

答 議会だよりや議会報告会などでPRに努めていく。また議員もフェイスブックを始めるなどして、輪を広げているが、苦戦している。ぜひとも吉田町議会フェイスブックをご覧いただき、お知り合いにご紹介ください。

問4 FMしまだで「吉田町議会」のことを宣伝してもらえかどうか。

答 吉田まちかど情報室などで取り上げていただいている。

問5 議会中継はどうか。

答 議会中継実現の目標に向かって、全議員の同意のもと一丸となつて取り組んでいる。議会フェイスブックを開設し、試行的に動画などをアップして活動を続けていく。皆様からの力強いご協力をお願い致したい。

ウ 子ども・子育て支援について

問1 育休退園はあるのか。

答 保育園では保護者の状況により、柔軟に対応している。

問2 私立幼稚園就園奨励費補助金は、他市と比べてどうか。

答 少しずつだが増えている。

問3 自彊小の児童数が増えたため教室が足りない。建て替えはあるのか。

答 建て替えの予定はありませんが、児童数の増加に対応するため、多目的ホールを2教室に変更する設計委託を行い、準備を進めています。

問4 全体的に資料がわかりにくい。視察は何をしに行ったのかわからない。

答 報告書をフェイスブックに掲載している。確認をしてほしい。

エ その他

問1 大幡川・大窪川・問屋川の浚渫(しゅんせつ)を早くできないか。

答 大窪川、問屋川は平成28年度内に実施する。

大幡川は、平成28年度の予定はない。

オ 要望

(ア) プラスチックごみは2週間に1回だが、洗って置いているが、3週間もあけると、ごみステーションがいっぱい。何でも燃やせるごみ処理施設を造ってほしい。

(イ) 茶業が芳しくないので北原等の茶畑の利用も考慮してほしい。

(ウ) 富士見幹線と大幡川幹線交差点が危ない。また、大幡神社の前も事故が多い。

(エ) 日の出地区から防災公園へ行く道路を早急に整備してほしい。

(オ) 議員も地域の行事に積極的に参加してほしい。

(カ) 富士見幹線と大幡幹線の合流点改善してほしい。

(キ) 北区の高齢者の移動手段を考えてほしい。(将来の)

(ク) もっと具体的な内容が知りたい。幼保小中だけでなく、家庭、親育て、企業(子育てしやすい職場)との連携も含め子育て支援をしてほしい。

カ 意見

- (ア) こども園が欲しいのか。また、幼保小中連携というが、家庭が基本と思う。おじいさん、おばあさん、地域のつながりや企業との連携も必要である。
- (イ) 北区は農業振興地域(青地)が点在しており土地利用が難しい。
- (ウ) 近所の方たちが気軽に集まれる場所があればいいなと思う。北区に子どもの遊ぶ場所がない。
- (エ) 幼保一貫について、保護者の考えをよく聞いて対処していくように。